



都市整備

JR在来線新駅の名称を「郡駅」と提案要望



水上 亨 議員

新幹線車両基地建設に伴う県の埋蔵文化財発掘調査では、縄文・弥生時代をはじめ歴史的に貴重な埋蔵物が発掘されている。新幹線開業時、在来線に新駅が設置される宮小路三丁目周辺は、県立ろう学校、虹の原特別支援学校、郡中学校があり、文教ゾーンと設定されている。そこで、新駅名を歴史と福祉を学ぶ「郡駅」と提案し、強く要望する。

答

駅名については、新幹線開業の約1年前にJR九州が決定・公表することとなっている。駅の名称について要望は可能とのことであるため、シティブロモーションの効果が見込め、利用者に親しんでもらえるような名称となるよう、さまざまな方から意見をいただいた上で、遅くとも平成31年度末までにはJR九州に要望を行いたい。



都市整備

市営住宅入居に2人の連帯保証人が必要か



神近 寛 議員

市営住宅入居世帯における連帯保証人の現状はどうか。住宅使用料の債権放棄額が多額である事実は、保証人制度が十分に機能していないことを示唆している。現在、税収納部署の努力で、収納率が上がっており、滞納対策は国交省が推奨する家賃債務保証会社を活用し、希望者には緊急連絡先の申告のみで入居可能とする仕組みを検討すべきである。

答

本市では、入居契約に当たり原則として2人の連帯保証人が必要であるが、市長が特別の事情があると認める入居契約については、事案ごとに要件の緩和を行っている。家賃債務保証会社による法人保証については、基本的に家賃債務の保証のみを行い、入居者の緊急時の対応等はしないため、現在のところ導入の考えはないが、今後、国交省が法人保証を含む保証人の取り扱いについて調査を行うとの通知があっており、その動向を注視していきたい。



都市整備

IT活用の通報システムについて



伊川 京子 議員

このところ、道路上の落下物など、市道上の不具合による交通事故の事案が多い。道路に限らず、橋、公園の遊具等、これからますます老朽化が進むことから、事故を未然に防ぐためにも、市民にスマートフォンを使って不具合箇所を市に通報してもらうシステムの活用を考えてはどうか。今後の取り組みについて尋ねる。

答

IT活用によるインフラ通報システムについては、県内における先進事例の長崎市の導入状況の聞き取りや、システム開発業者から見積もりを徴収するなど、システム導入に係る必要経費等の調査研究を行っている。今後の取り組みについては、SNSなど、手軽に使える通信手段を活用した通報方法などの研究と併せ、通報システム導入による費用対効果等の検討を行うなど、導入の可否を含め、引き続き調査研究していきたい。



都市整備

都市計画道路(北部地区)について



村上 秀明 議員

大村市の各地域の均衡のとれた発展が大事であり、北部地区の発展も市にとって重要である。第5次大村市総合計画や都市計画マスタープランを見直す時期がきている今だからこそ、北部地区の用途地域の見直しを行い、都市計画道路を県道大村嬉野線まで延伸してはどうか。また、九州農政局への用途地域の拡大の要望について、平成14年以降行っていないとのことであるが、当時から農業環境も変わっており、再度熱心な要望活動を望む。

答

北部地区の用途地域については、用途地域の拡大に必要な農業振興地域を除外することが大変厳しい。また、県道大村嬉野線に通じる都市計画道路の延伸については、用途地域外を通ることが想定され、新たな都市計画道路の計画は困難である。市としても、北部地区の活性化には道路網の形成が重要な課題であると認識しており、既存の市道等の活用も含め、中長期的な道路網の計画を調査研究していきたい。また、九州農政局への用途地域の拡大の要望について、農業振興地域の除外を含め、現状を確認しすぐに行いたい。



注3…公有地などの有効活用に向けた検討にあたって、活用方法について民間事業者から広く意見、提案を求め、「対話」を通じて市場性等を把握する調査
注4…大規模な宅地造成や、再開発事業などを行う開発業者のこと

都市整備

森園公園をさらに美しく!!



永尾 高宣 議員

もりぞの花フェスは毎年開催され、大変な賑わいであるが、イベント時の駐車場が不足しており、以前からある芝の駐車場は、水はけが悪く雨天時には利用しにくい状況である。この駐車場の整備と併せて、南側と西側の植樹帯を駐車場にできないか。また、公園をさらに美しくするために、咲いている期間が長いサルスベリを新たに植樹したらどうか。

答

本年度のもりぞの花フェスの際は、公園の駐車場125台に加え、近隣の給食センターの100台分の駐車場も確保している。従来の芝の駐車場について、改修の必要性は感じているが、利用状況を見る限り、アスファルトの駐車場に対応できていると考える。また、植樹帯を駐車場にすることは、森園公園が植物公園であるため考えていない。また、サルスベリの新たな植樹についても、十分な植栽スペースがないため今のところ考えていないが、今後、枯れ木等の植えかえの際には、可能であれば考えたい。

都市整備

新幹線新大村駅(仮称)
東口の開発について



城 幸太郎 議員

市長は8月の臨時議会で新幹線新大村駅(仮称)東口での文化ホール建設を前向きに検討すると答弁された。本年度内にサウンディング調査^{注3}を行い方針を決定したいとの担当部局の発言もあった。市長のマニフェストの中でも、市民会館の早期新築計画を進め、市民の音楽・文化・芸術活動の推進を図るとうたっていることから、新大村駅(仮称)東口の開発に当たっては、文化ホール建設を必須条件に入れて開発者を選定すべきと思うがどうか。

答

デベロッパー^{注4}が新駅周辺全体の開発を検討する中で、当然市としては文化ホールについての意向を伝えるが、今後さまざまな提案が出てくると思われる。その中で、市として、また議会として、どういう判断をしていくかということになると思われるため、サウンディング調査以降の動きを議会とともに進めていきたい。

行財政・一般

市庁舎建設と基本計画関連



村上 信行 議員

市は昨年7月に新庁舎建設にあたり、基本計画策定を業務委託し、今年4月に大村市新庁舎建設基本計画(素案)が出された。その結果、事業費は当初予定していた80億円から125億円に大幅に上がり、市民から多くの異論が出た。その後、再度見直しを行い、7月には事業費108億円の計画が示されたが、この計画からは庁舎の全体的な姿が見えてこない。これから発注する基本設計で建設面積や建物の構造などが検討依頼の対象になるのであれば、また内容が変わるのではないか。いったん計画を中止して再検討すべきだ。

答

基本設計の業務については、今からプロポーザル方式により事業者を選定していく。決定した事業者から専門的なアドバイスや提案を受け、協議を行い、市が中心になって、市の考え方も盛り込みながら基本設計の策定を進めていきたい。

行財政・一般

公共工事に使用する
特殊単価について



城 幸太郎 議員

市が工事を発注するとき使用する「特殊単価」はどのように算出されるのか。特殊単価と実勢価格に大きな差が生じてその差額を認めてもらえず、赤字になった工事もあると聞く。発注者である市は企業を育てるという役割も担う。企業の発展はひいては市の発展につながるはずであるが、特殊単価の算出方法について見解を問う。

答

特殊単価の算出については、原則として3社以上から見積もりを徴取し、その平均から30%以上価格が違うものを異常値として除外した上で、最低の価格を特殊単価として採用しており、県の算出方法に準じている。また、決定した特殊単価については、入札の際の縦覧設計書において公表しているため、業者の方々も事前にご存じのはずである。